

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	4-4-2		事業名	「豊平川札幌地区河川防災ステーション」整備事業
担当	都市局開発事業部調整担当課 大澤 Tel 211-2721			
全体計画				
事業内容	河川防災ステーションは、豊平川の洪水時における河川の保全活動及び災害時の緊急復旧活動を行なう拠点として、東雁来第2土地区画整理事業地内に、国が管理する河川防災ステーションとそこに札幌市の水防センターを併設するものである。平常時には防災減災に向けた市民活動などによる利活用を図る。 <b>【施設概要】</b> 延べ面積 850㎡ 構造 RC造2階建て(国と札幌市の共用施設) 施設内容 河川管理施設、防災交流施設(水防倉庫、水防団詰所、広報室、管理人室、車庫) 平常時 防災訓練機能、研修・学習機能、情報発信機能		<年度別の事業内容>	
			「豊平川札幌地区河川防災ステーション」 水防センター建設事業年次 (札幌市施行分) 平成20～22年度 (事業内訳) 平成20年 基本設計 平成21年 実施設計 平成22年 工事着手及び完成(予定)	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	<19年度の主な事業・取組> ・基本設計に向けて関係部署との協議調整を進めた。 ・平成19年6月に、北海道開発局と札幌市において「豊平川川づくり・まちづくり連絡協議会」及び同協議会内に「河川防災ステーション部会」を発足し、施設計画及び管理運営計画の協議調整を行った。 ・それに基づき「河川防災ステーション整備計画」と「水防センター整備計画」の基本方針を作成し、平成20年度に実施する水防センター基本設計の方向性が明確になった。  ※ 基本方針 ・ 豊平川全流域における災害時の防災・減災活動の支援拠点 ・ 東雁来地区の水防活動を円滑に行うための施設 ・ 河川事業の紹介や情報発信の場 ・ 水防活動を中心とした防災訓練の場 ・ 水防対策などの防災研修や学習活動の場		<20年度の主な事業・取組> ・水防センターの実実施設計を実施した。 ・平常時利活用と施設整備及び運営・維持管理について関係部局、及び「河川防災ステーション部会」での協議調整を行なった。	
事業内容	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)	
	<21年度の主な事業・取組> ・水防センターの建設工事を完了した。 ・基本方針をもとに平常時の利活用について関係部局と協議を進め、河川防災ステーション平常時利活用プログラムを策定した。 ※河川防災ステーション平常時利活用メニュー ①「河川防災」に関する情報発信の場として活用 ② 防災・減災知識に関する学習講座・出前講座の開催会場として活用 ③ 水防実習訓練、消防実習訓練などの開催会場として活用 ④ 札幌市総合防災訓練などの会場として活用 ・ ⑤ サバイバルキャンプ体験施設として活用 ⑥ 石狩川・豊平川に関する歴史や防災に関する資料の閲覧、総合河川情報等の情報提供の場として活用 ⑦ 豊平川や自然環境などに関するパネル展示など、情報提供の場として活用 ⑧ サイクリングロード・オープンスペースネットワーク拠点としての活用 ⑨ 川の安全講習会などの開催会場として活用 ⑩ 川を軸とした札幌市の歴史文化の展示に活用 ⑪ 東雁来第2地区のまちづくりテーマに則した市民利用への貸出の検討		(決算)	

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	4-4-2			事業名	「豊平川札幌地区河川防災ステーション」整備事業		
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)
水防センター建設		－	－	実施設計	工事完了		工事完了
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加  【情報発信・交流機能】河川を軸とした文化活動の拠点として活用するとともに、広く市民に対して河川事業の紹介や情報発信を行う。  【研修・学習機能】広く市民を対象とした水防対策などに関する防災研修や、小中学生を対象とした体験学習(キャンプ等)の場として提供する。</p> <p>■企業等との連携・協働  [資金協力]該当なし  [人材協力]該当なし  [情報協力]該当なし  [その他の協力]該当なし</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり  市内で防災活動や体験学習(キャンプ等)を実践している市民団体等からヒアリングを実施し、当該施設の管理活用計画に意見を反映させていく。</p>							
評価(成果)				課題			
河川防災ステーションの中核施設である「水防センター」の建設工事を完了した。 また、利活用の基本方針をもとに関係部局との協議を図り、平常時利活用プログラムを策定した。				策定した河川防災ステーション利活用プログラムの円滑な実施に向け、関係部局間の協力体制を強化する必要がある。			
今後の事業の予定・方向							
水防センターについては、平成21年度に建設工事を完了し、平成22年度から河川防災ステーションの部分供用を開始した。 今後、平成24年度まで北海道開発局が行う整備が継続し、平成25年度には施設全体が供用開始される予定である。							
また、平成21年度に策定した平常時利活用プログラムの具体化を進め、平成25年度の全面供用をめどに利活用メニューの実現を目指す。(サイクリングロード・オープンスペースネットワーク拠点としての活用、サバイバルキャンプの実施、河川防災に関する学習講座など)							

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		4-4-2			事業名	「豊平川札幌地区河川防災ステーション」整備事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	0	4,000	10,000	297,000	311,000				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	148,500	148,500			
		市の債	0	0	0	133,000	133,000			
		その他の	0	4,000	0	0	4,000			
		一般財源	0	0	10,000	15,500	25,500			
予算	事業費	0	4,000	112,000	0	116,000				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0			
		市の債	0	0	0	0	0			
		その他の	0	0	10,400	0	10,400			
		一般財源	0	4,000	101,600	0	105,600			
実績	事業費	0	4,932	107,605	0	112,537				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0			
		市の債	0	0	0	0	0			
		その他の	0	0	13,191	0	13,191			
		一般財源	0	4,932	94,414	0	99,346			
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)					36.2%			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
<p>《全体》水防センター(国・市の合築)を、計画では国(開発局)からの負担金を受けて札幌市が一括で発注することとしていたが、国と市のそれぞれが発注するよう変更になったため、事業費に大きな差異が生じた。(平成21年度に計上した事業費は、市分のみの事業費であり、国分の事業費は計上していない。)</p> <p>また、国分施設の建設が平成21年度に早まったことに合せ、市分も同一年度に建設することとしたため、予算執行年度が一年前倒しになった。</p> <p>[19年度] 計画との差異はない。</p> <p>[20年度] 基本設計ではなく、一年早く実施設計を行った。(施設全体の基本設計は国の負担で行われ、市の負担がなくなった。)</p> <p>[21年度] 実施設計ではなく、一年早く建設工事を行った。</p> <p>[22年度] 水防センター建設事業が平成21年度で終了したため、平成22年度の予定事業はなくなった。</p>										